

6月26日の避難訓練、2年生のお話。避難訓練の日は伝えてあったが、いつするかということ  
は、伏せておいた▼地震はいつ起こるかわからない、そのいつ起こるかわからない地震から絶対に  
命を守ってほしい。そんな担任の思いが背景にあった▼避難する時、子どもたちは、避難経路にあ  
る東昇降口の「変化」に気がついたようである。2年生は植木鉢でミニトマトやピーマンを栽培し  
ている。夜間は、サルやシカ対策として、昇降口の中に植木鉢を片付けている。朝登校すると、植  
木鉢を外に出し、水やりをする▼子どもたちは、昇降口の外、思い思いの場所に植木鉢を置いてい  
た。悪く言えば、乱雑に・・・だ。ところが、避難訓練の日は、その植木鉢が入り口をよけてきれい  
に置いてあった！という▼子どもたちはその気づきを話し合い、どうしてそうになっていたのかを考  
えた。「安全に逃げられるようにするため」「これからもそうやってした方がいい」そして、その次  
の日からは、東昇降口の植木鉢は入り口を避け、整然と並べられるようになった▼「きちんとなら  
べなさい！」叱り飛ばせば済む話かもしれない。やがては、叱られるから○○していけないという  
子が育つだろう。2年生の学級だよりの題名は「るうつ」。「なぜそうなのか」を考え、「だから○  
○しよう！」そんな最善解が導ける子どもたちを育てたい。担任の願い。育てたように子は育つ。